

# 同志社女子大学 新島八重と私

—資料収集について—



2023年 12月9日(土) 14:00-15:00

講師：吉海直人氏よしかい なおと(本学特任教授) 会場：同志社女子大学今出川キャンパス 純正館S014

## 講師プロフィール

昭和28年7月、長崎県長崎市生まれ。國學院大學文学部、同大学院博士課程後期修了。博士(文学)。国文学研究資料館文献資料部助手を経て、現在、同志社女子大学表象文化学部日本語日本文学科特任教授。専門は平安時代の物語及び和歌の研究。著書に『源氏物語』の薫りを読む(新典社、令和5年)、『住吉物語』(角川文庫、令和5年)などがある。たまたま趣味の資料収集で新島八重の懐古談を入手したことから、NHK大河ドラマ「八重の桜」に合わせて『新島八重 愛と闘いの生涯』(角川選書、平成24年)、『カメラが撮らえた新島八重・山本覚馬・新島襄の幕末・明治』(中経出版、平成25年)、『2時間でよくわかる新島八重』(アスコム、平成25年)を出版した。

## 講演概要

縁あって、同志社出身でもなくクリスチャンでもない私が、同志社女子大学に採用されて以来、三十五年が経過しました。入社した後、少しでも同志社のことを知ろうと思って、私なりに同志社に関わる資料を集めてみました。新島襄の英文の伝記や、漢文で書かれた『天道溯原』や『聯邦志略』の初版本や、『ガリバー旅行記』の古い版もあります。和歌関係は私の専門なので、佐川田昌俊の「吉野山」歌の短冊を入手したり、新島襄の「いしかねも」歌を池袋清風が添削したことから、清風の短冊をたくさん収集したりしました。「八重の桜」以来、八重の詠んだ歌を集大成したこともあります。八重と大島正満との交流が小学校の教科書に掲載されていることを知り、その古い教科書を求めたりもしました。収集に際しては、これまであまり研究されていないものであること、そして何より同志社にないものを手に入れようと思いましたが偶然購入した山本覚馬の『管見』は、同志社所蔵のもの欠落を補えるものです。講演ではそういった資料収集にまつわるお話をさせていただきます。

## 事前申込要

史料センターメールアドレス又はFAXでお申込みください  
①氏名 ②属性(卒業生、在学生、教職員、一般)  
③電話番号又はメールアドレス

## お問い合わせ・申込先

同志社女子大学史料センター  
〒602-0893 京都市上京区今出川通寺町西入  
TEL : 075-251-4200 FAX : 075-251-4201  
E-mail: shiryo-i@dwc.doshisha.ac.jp